

RFID タグ(ICタグ)を用いた 取り違い防止システム



RI Witness™は、ICチップが埋め込まれたRFIDで「誰が何を、どこで、いつ行ったか」を管理できるシステムです。クリニックが万が一、他の患者様の胚や配偶子が作業エリアに持ち込まれると事前に警告を発し、胚や配偶子の取り違い等を防ぎます。

優れたRFID 技術

バーコードは、一つ一つバーコードスキャナーで読み取る必要があります。読み取りを忘れても作業は継続できるため、後に取り間違い等に気づくケースがあります。

一方、RFID はRFID タグを直接読み込む必要はなく、作業エリアで自動的に認識されますので、スキャンし忘れということが発生しません。

RI Witness™は命の源を見守る
取り違い防止システムとして
世界中で利用されています。



本製品の特徴をもっと知りたい方は、
下記のページをご覧ください。

<https://coopersurgicalfertility-jp.com/>

ご施設名

PI-RI Witness-2022Mar

©2022 ORIGIO Japan K.K. All Rights Reserved.

オリジオ・ジャパン株式会社

〒231-0021

神奈川県横浜市中区日本大通11 横浜情報文化センター4F

Tel. 045-319-6826 Fax. 045-319-6581

E-mail: toiawase@coopersurgical.com

Web: <https://coopersurgicalfertility-jp.com/>

 CooperSurgical®
Fertility Solutions

RI Witness™

RI Witness™

患者様の大切な命の源を見守ります。



 CooperSurgical®
Fertility Solutions



IVF 施設の取り違い防止への取り組みを気にするのは当然のことです。

RI Witness™について

RI Witness™ は、体外受精の治療中に起こりうる人為的ミス或未然に防止するために開発されました。RI Witness™ は RFID タグを使用し、クリニックでの作業を常にモニタリングしています。間違った胚や配偶子を扱ってしまうような取り間違い事故を未然に防ぎます。自動化されたシステムなので、医療従事者の負担を増やしません。

そのぶん医療従事者は患者様の胚や配偶子に集中することが可能になります。

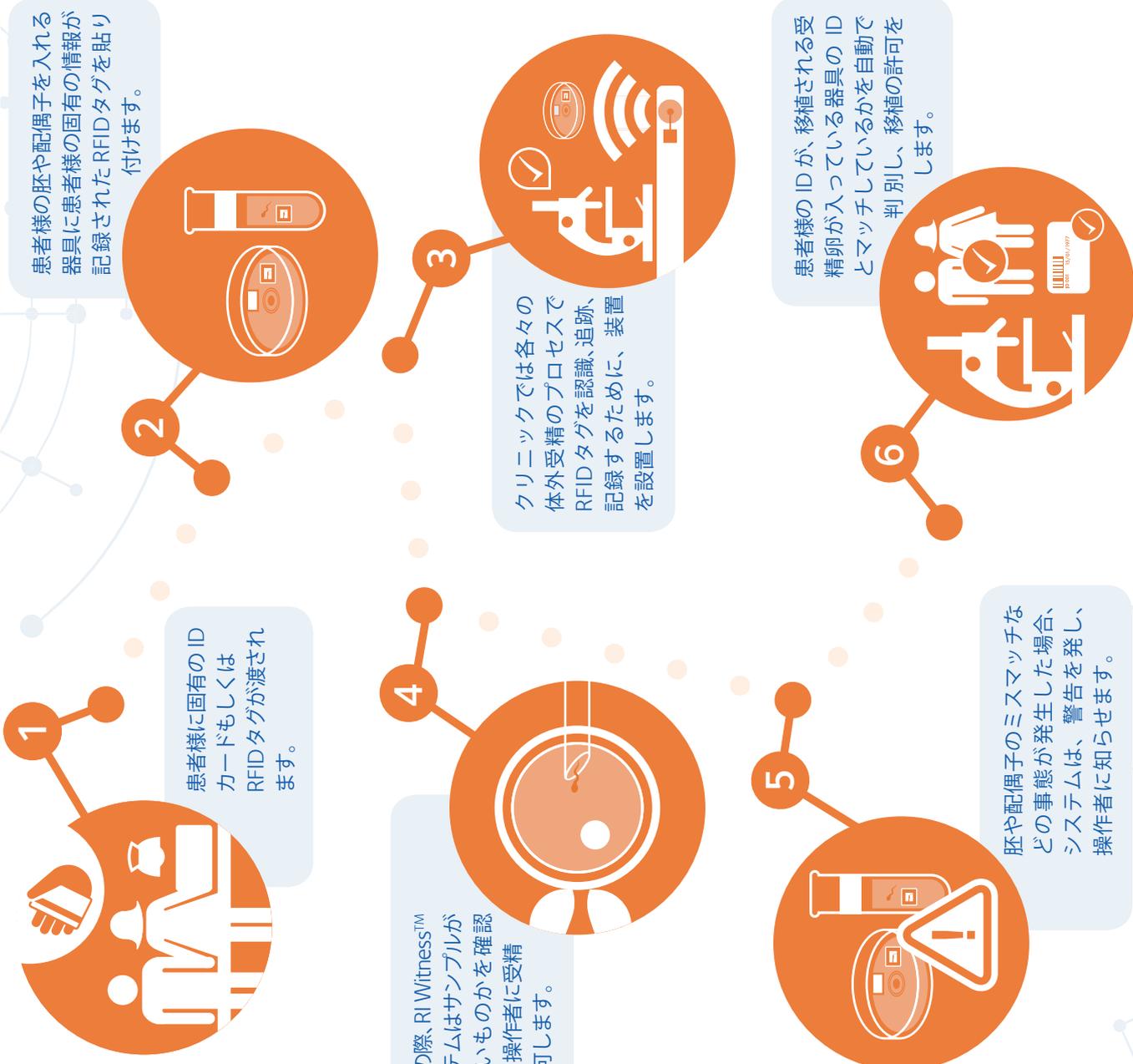
患者様の大切な胚や配偶子を守るということ

RI Witness™ を導入しているクリニックでは、様々な方法で患者様の胚や配偶子を管理しています。クリニックは RI Witness™ の導入で、安全管理に求められる基準以上に、取り違い防止体制を整備していることができます。

クリニックにとって患者様の胚や配偶子の取り違い防止は最優先です。RI Witness™ の導入は、取り違い防止を最優先にしている証です。



RI Witness™ の仕組み



RI Witness™ は体外受精の最初から最後まででの全過程で、患者様の胚や配偶子を見守ります。